

神仏分離を問い直す

神仏分離150年シンポジウム実行委員会編

▼46判・並製カバー・196頁・本体 一、二〇〇〇円十税

2020年2月刊行



宗教学・歴史学の第一線で活躍する研究者らと現場の僧侶が、幕末維新期の一大トピック「神仏分離」をめぐる諸相を多角的に問い直す。

【目次】

シンポジウム開催にあたって

(高木智見)

特別寄稿 狂言と神仏習合…山伏狂言「梟」を中心に

(稲田秀雄)

基調講演

明治初期の宗教政策と国家神道の形成…神仏分離を中心に

(島菌進)

討議

(司会)池田勇太／パネリスト…島菌進・真木隆行・上野大輔・木村延崇

発題一 中世における神仏習合の世界観

(真木隆行)

総括 神仏分離をどう考えるか

(池田勇太)

発題二 近世史研究からみた神仏分離

(上野大輔)

あとがき
(神仏分離150年シンポジウム実行委員会
委員長・洞春寺住職深野宗泉)

発題三 現代の宗教者から捉えなおす神仏分離と宗教的寛容

(木村延崇)

注文書	
(書店印)	
ご担当	様冊
法藏館 本体一、二〇〇〇円十税 神仏分離150年シンポジウム 実行委員会編 神仏分離を問い直す ISBN: 978-4-8318-5562-6 C1021	
お名前	住所
お電話	

ご注文はFAX: 075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

日本史・思想史